

令和7年2月16日

滑川町山田地区
住民説明会

本日はお忙しい中、太陽光発電設備設置工事の住民説明会へお集まりいただき有難うございます。また、日頃太陽光発電事業へのご理解とご協力を賜り重ねてお礼申し上げます。役場と事前協議を重ねその中で指摘いただいた事柄などすべて解決したうえで今回の説明会となります。計画に関しては今回の内容で決定事項となりますが、ご理解とご協力よろしくお願い申し上げます。

随分前になりますが、前回（令和4年2月）に引き続き3回目の説明会となります。

前回、前々回と重複する内容が多々ありますが役場からの指導もあり再度説明申し上げます。

内容

(1) 事業の趣旨と事業計画の内容

太陽光発電は地球温暖化対策として非常に効果的で持続可能な社会の実現に向けて大きな貢献をしています。その一役を担います。

- ・ 温室効果ガスの削減
1kw で年間 1000 kg の CO²削減
- ・ 再生可能エネルギーの利用
持続可能な電力供給
- ・ 空気の質の向上
発電時に空気汚染物質の排出無し

名称：滑川町山田 460 発電所（仮称）

事業者：聖陽株式会社

設置場所：埼玉県比企郡滑川町山田 460, 462, 484-1, 485

認定出力：499.5Kw

総出力：1047.48Kw

使用パネル：STP580S-C72/Nsh+ 1806 枚

パワーコンディショナー：SUN2000-50KTL-JPM0 10 台

工事予定：令和7年5月～12月（予定）

発電終了予定：2043/3/1

(2) 工事中の騒音及び振動についての対策

使用する重機は超低騒音を使用

早朝・深夜の作業を行わない

など住民に配慮した形で工事を進める

万一時間外の作業が必要となった場合は近隣住民の了解を得る

(3) 土砂、資材、廃材等の搬出入を含む管理方法

作業現場、進入路における安全を確保するよう現場を教育し搬出入の時間帯を考慮する。

・作業時間：8：00～17：00

・休日：日・祝

(4) 環境の保全、安全対策と防災等の措置

雨水対策：トレンチとマウントアップの設置により雨水流出を防ぐ

環 境：残地林と空きスペースに低木を植林し緑化を図る

(5) 維持管理の方法と非常時の対応

除草作業：2回/年、また、状況に応じて除草を行う

定期点検：1回/電氣的点検を発電期間中行う

緊急対応：事業地に非常時対応の連絡先を掲示する

(6) 発電事業終了時の撤去・廃棄の方法

発電終了時にリニューアルを施し再発電を予定

(今の所、撤去は考えていない)

(7) 境界の説明

測量図添付

添付資料

案内図

進入路図

配置図

マウントアップ図面

ブロック図面

浸透設備図面

測量図

工事工程表

前回説明会回答（参考資料）

前回説明会回答（参考資料）

① 雨水対策について

- ・浸透しない地質、粘土質
- ・トレンチだけでは対策が不十分ではないか
- ・オーバーフローした水を敷地外へ排出できないか
- ・2次的3次的な対策をして欲しい
- ・南側のブロックはどの程度のものか、近隣の発電所はブロックの下を水が抜けてきた。
- ・西側にも流出対策を

回答

- ・令和6年10月に有限会社勝実建設において地質浸透試験を実施いたしました。
その結果、役場と協議の末、トレンチのサイズを深さ80cm、幅80cmから深さ150cm、幅150cmへサイズアップしました。
- ・設備計画地の東西北をマウントアップし南側はブロックを設置し流出を防ぎます。
- ・雨水は敷地内で処理することになっています。
- ・2次的3次的な対策として敷地内の雨水が浸透枳へ流れるよう手立いたします。
- ・ブロック（別紙参照）

② 除草作業

- ・除草剤は使用するのか
- ・年2回だけか

回答

- ・除草剤は使用せず、年2回を除草業者と定期契約。必要に応じて追加除草を行います。

③ 設置後

- ・アフターフォローの一環として設置後1～2年後に住民から意見を聴取し必要な事が有れば対策して欲しい

回答

- ・可能な範囲で対応いたします。

④ 進入路

- ・進入路は決定か

回答

- ・今の所、別紙の予定です。

⑤ 補償

- ・太陽光発電からの被害は補償されるのか

回答

- ・倍賞瀬近位が発生した場合、補償の対象となります。

⑥ 説明会

- ・引き続き行うのか

回答

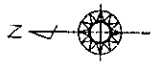
- ・今回は最後です。

⑦ 20年後

- ・どうなるのか

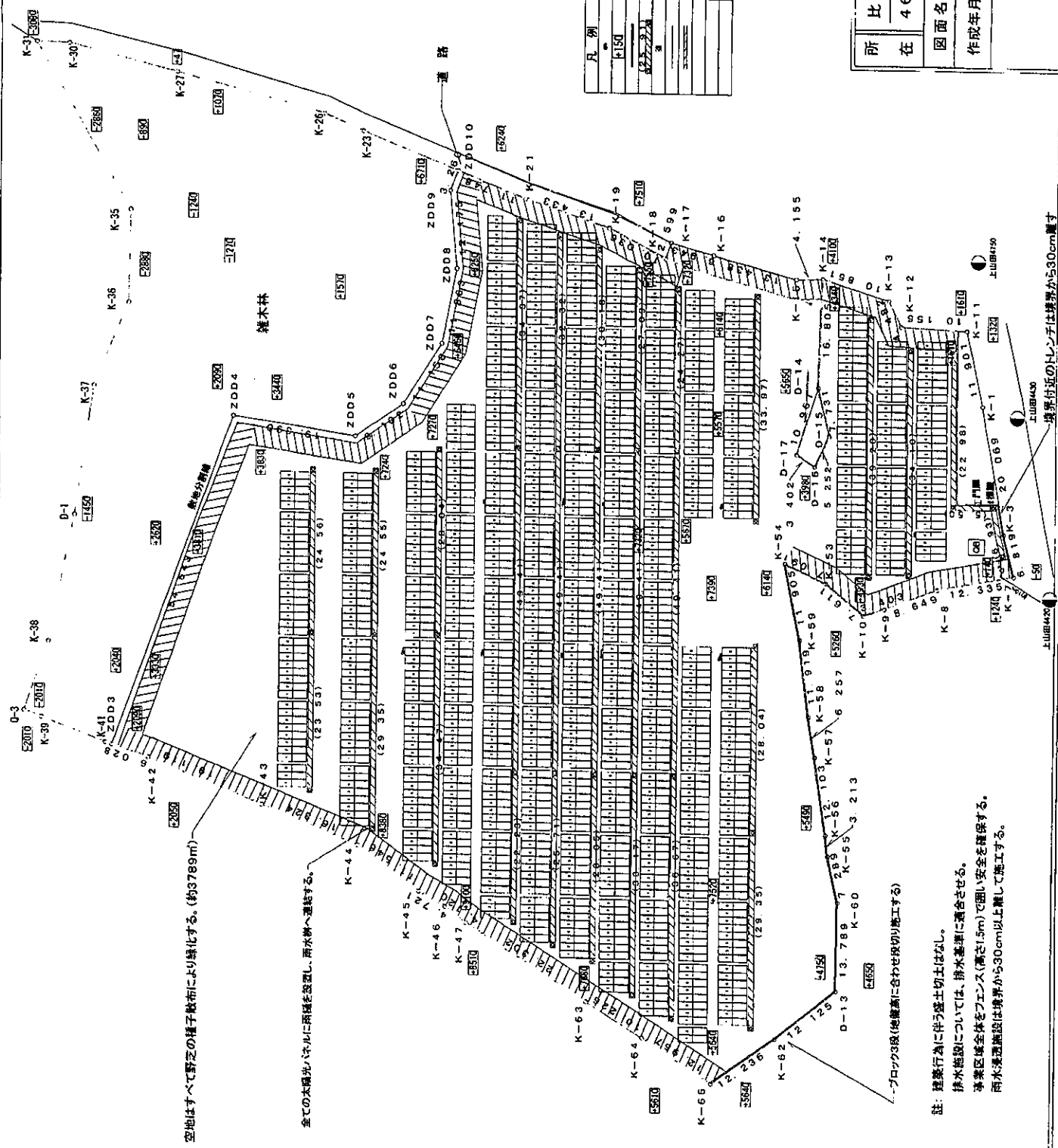
回答

- ・今現在撤去は考えておりません。



凡 例	
ハローコンディショナー (10台)	
トランシーブローグ (3段) (幅120mm)	
トランチ (1.5m x 1.5m) (総延長: 805.68m)	
雨水排水溝 (合計42.2m)	
フェンス (1.5m)	
雨水排水用マウントアップ	

所 在	比企郡滑川町大字山田字根肥
図 面 名 称	土地利用計画図 (全図)
作成年月日	令和6年10月30日
縮 尺	1 / 600



空地はすべて野芝の種子散布により緑化する。(約3789㎡)

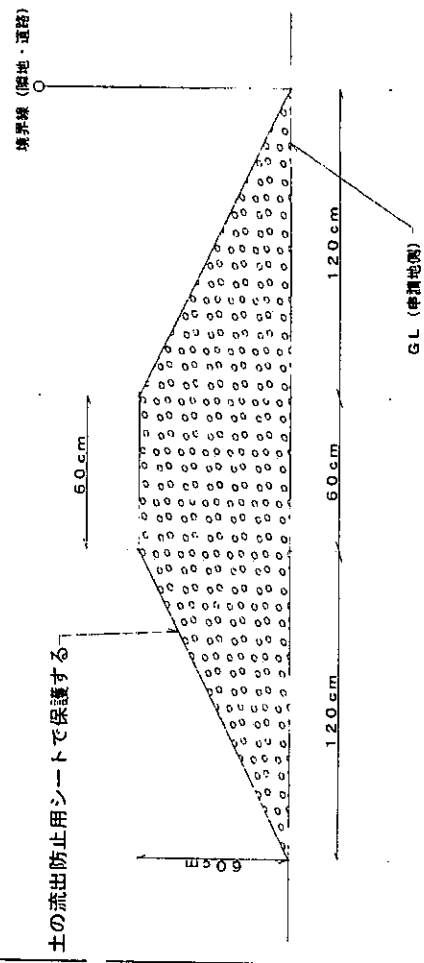
全ての太陽光パネルに屋根を設け、雨水貯・濾過する。

ブロック23段 (地盤高に合わせて段切り施工する)

注: 建築行為に伴う盛土切土はなし。
排水施設については、排水基準に適合させる。
作業区域全体をフェンス(高さ1.5m)で囲い安全を確保する。
雨水浸透施設は境界から30cm以上離して施工する。

境界付近のトレンチは境界から30cm離す

雨水対策マウントアップ施工詳細図 縮尺 1/20



比企郡滑川町大字山田字根肥	比企郡滑川町大字山田字根肥
図面名称	外構設備構造図
作成年月日	令和6年 7月16日
縮尺	1/20
柴藤測量登記事務所	柴藤 康弘
行政書士 土地家屋調査士	TEL 0493-57-1303 FAX 0493-59-6557
埼玉県比企郡滑川町みなみ野二丁目5番地7	埼玉県比企郡滑川町みなみ野二丁目5番地7

I 流出量の計算

$$\begin{aligned} 1 & \quad A(\text{開発面積}) \times 700 \\ & = 1.092514 \times 700 \\ & = 764.76\text{m}^3 \end{aligned}$$

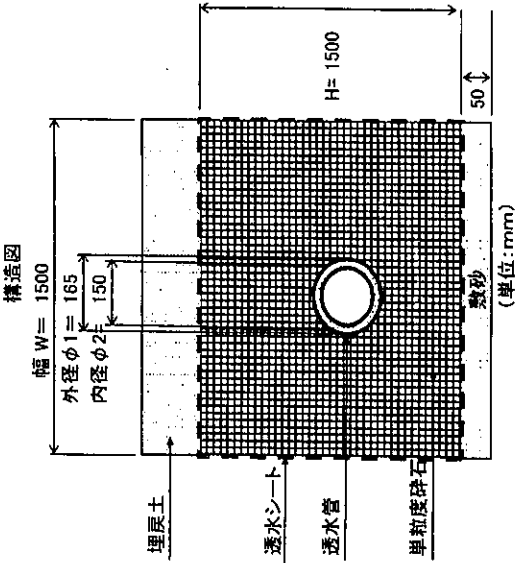
II 対策量の計算

トレンチ浸透量	6.36
トレンチ貯留量	721.83
雨水樹浸透量	0.99
雨水樹貯留量	50.36
合計	779.54

浸透トレンチの処理量計算
1 設計条件

設置形状	浸透トレンチ
浸透面	側面・底面
設計水頭	約1.5m
施設規模	幅約1.5m
基本式	$K=aH+b$
H(m)	1.5
W(m)	1.5
L(m)	***
a	3.093
b	$1.34 \times W + 0.677$ 2.687
K	7.326
π	3.14159265

長さは1m当りで計算する。



※略図ですので、参考としてください。

2 基準浸透量

$Q_f = K \times f \times C$

Q_f : 基準浸透量 (m^3/hr)

K : 比浸透量 = 7.326

f : 土壌の飽和透水係数 (m/hr) = 0.003

C : 影響係数 = 0.81

$Q_f = 0.017$ (m^3/hr)

浸透量 = $1/3600 \times Q_f \times \text{延長}(m) \times 1/0.4704 \times 700$ 延長 = 905.68

= 6.36

3 基準貯留量

$Q_t = (W \cdot H - \pi \cdot \phi 1 \cdot \phi 1 / 4) \cdot T_v + \pi \cdot \phi 2 \cdot \phi 2 / 4$

Q_t : 基準貯留量 (m^3)

T_v : 空隙率 (%) = 35 (単粒度碎石 $\phi 40$)

W (m)	H (m)	$\phi 1$ (m)	$\phi 2$ (m)	$W \cdot H$	$\pi \cdot \phi 1 \cdot \phi 1 / 4$	$\pi \cdot \phi 2 \cdot \phi 2 / 4$	Q_t
1.5	1.5	0.165	0.15	2.25	0.02138	0.01767	0.797

貯留量 = $Q_t \times \text{延長}(m)$ 延長 = 905.68

= 721.83

浸透丸機

浸透丸機の処理量計算

1 設計条件

浸透機	円筒形
砕石等の設置形状	立方形
浸透面	側面・底面
設計水頭	約1.5m
施設規模	$W \leq 1.5m$
基本式	$K=aH+b$
H(m)	1.5
W(m)	1.5
L(m)	***
a	$-0.453 \times W$ $-0.2889 \times W + 0.253$ 12.16725
b	$1.459 \times W + 1.27 \times W + 0.362$ 5.5475
c	
K	23.798
π	3.14159265

2 基準浸透量

$Qf = K \times f \times C$

Qf : 基準浸透量 (m³/hr)

K: 比浸透量

f: 土壌の飽和透水係数 (m/hr)

C: 影響係数

$Qf = 0.057$ (m³/hr)

浸透量 = $1/3600 \times Qf \times \text{個数} \times 1/0.4704 \times 700$

= 0.99

個数 = 42

3 基準貯留量

$Qt = [(W \cdot W \cdot H) - (\pi \cdot \phi 1 \cdot \phi 1 / 4) \cdot h] \cdot Tv + (\pi \cdot \phi 2 \cdot \phi 2 / 4) \cdot h$

Qt : 基準貯留量 (m³)

Tv : 空隙率 (%) = 35 (単粒度砕石 $\phi 40$)

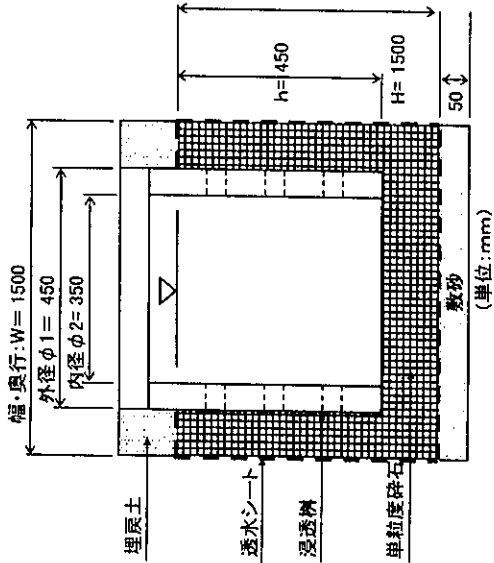
W(m)	H(m)	$\phi 1$ (m)	$\phi 2$ (m)	h(m)	W $\cdot$ W $\cdot$ H	$(\pi \cdot \phi 1 \cdot \phi 1 / 4) \cdot h$	$(\pi \cdot \phi 2 \cdot \phi 2 / 4) \cdot h$	Qt
1.5	1.5	0.45	0.35	0.45	3.375	0.07157	0.04330	1.199

貯留量 = $Qt \times \text{個数}$

= 50.36

個数 = 42

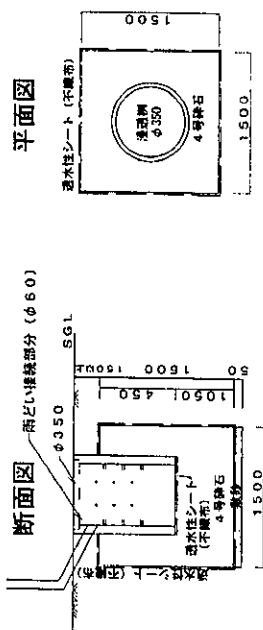
構造図



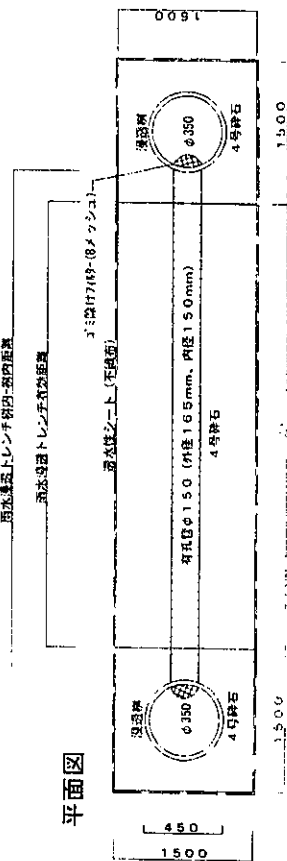
※略図ですので、参考としてください。

浸透施設構造図

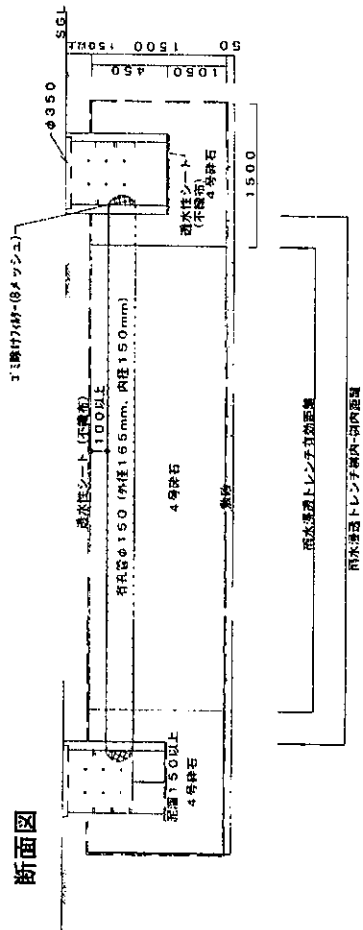
雨水浸透丸樹 1/30 ※碎石部分は略図です。(記載の寸法を厳守)

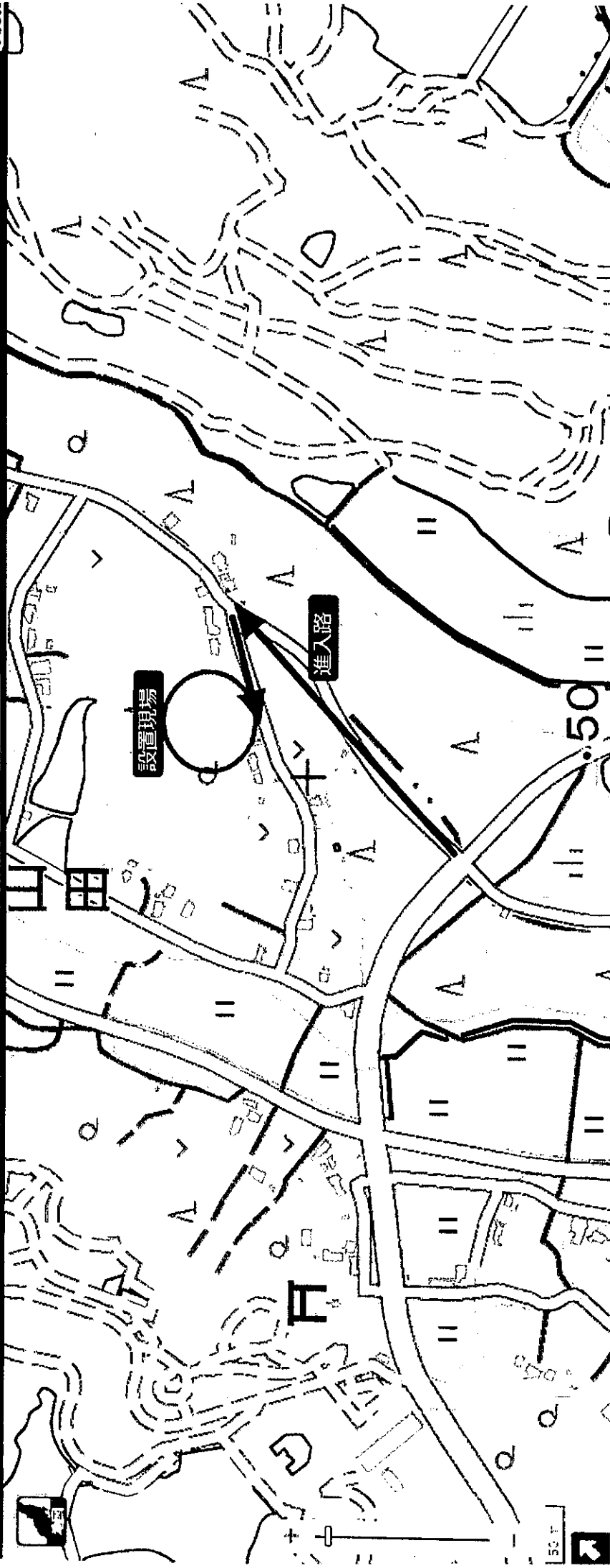


雨水浸透丸樹トレンチ 1/30



断面図





〒355-0802 埼玉県比企郡滑川町

〒355-0802 埼玉県比企郡滑川町山田483

砂浜地帯

〒355-0802 埼玉県比企郡滑川町山田483
の場所を提案

〒355-0802 埼玉県比企郡滑川町山田483

〒355-0802 埼玉県比企郡滑川町山田483
の場所を提案

地図に載っていない場所を追加

自身のビジネス情報を追加

ラベルを追加

写真

ホテル 観光スポット 交通機関 P 駐車場 薬局 ATM

設置現場

Y-72

山田460.461-2.462.484-1.485

計14,404㎡

Google